

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年06月11日

計画の名称	下呂市地域住宅等整備計画（下呂市地域住宅計画）													
計画の期間	令和 0 2 年度 ~ 令和 0 6 年度 (5年間)											重点配分対象の該当		
交付対象	下呂市													
計画の目標	長期的な活用を図る住戸について、給排水衛生設備の機能改善を行うことにより既設公営住宅等の居住性の向上を実現する。													
全体事業費（百万円）	合計（ A + B + C + D ）		120	A	120	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （ A + B + C + D ）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初		R6末
1	長期的な活用を図る住戸について、給排水衛生設備の機能改善を行うことにより既設公営住宅等の居住性の向上を実現する。			
	3点（浴室・台所・洗面所）給湯が確保された公営住宅の割合 （公営住宅の改善割合）＝（公営住宅の改善戸数） / （全公営住宅戸数）（％）	27%	%	36%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
地域住宅計画に基づく事業	A15-001	住宅	一般	下呂市	直接	下呂市	-	-	公営住宅等ストック総合 改善事業	公営住宅改修事業 3棟48戸	下呂市	■	■	■	■	■	43		策定済
	A15-002	住宅	一般	下呂市	直接	下呂市	-	-	公の家賃低廉化事業	花池団地、無数原第二団地	下呂市	■	■	■	■	■	77		-
											小計						120		
											合計						120		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
下呂市まちづくり推進部まちづくり推進課において事後評価を実施	令和7年6月
	公表の方法
	下呂市ホームページで公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	下呂市公営住宅等長寿命化計画に基づき長期的な活用を図る住戸について、給排水衛生設備の機能改善として浴室・洗面・台所の3点給湯の整備に加え、浴槽のサイズアップ・エプロンの高さダウン等を行うことで居住性の向上を図ることができた。年々材料費等の高騰により戸当たり単価が増加し、令和6年度には追炊き機能無タイプの給湯器が廃番となり、追炊き機能有タイプの上位機種設置により実施戸数を減少させ対応することとなったため、目標値に5戸達しなかった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	下呂市公営住宅等長寿命化計画（R7.3月改定）、下呂市市営住宅整備基本方針（R6.3月策定）に基づき、公営住宅等ストック総合改善事業を実施することで長寿命化計画の周知及び今後の人口状況等に応じた適正な住宅ストック管理につながっている。

○特記事項（今後の方針等）

ストック総合改善事業の実施により住環境の向上を図るため、次期社会資本総合整備計画（R7～R11）においても、引き続き整備を推進していく。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	目標値 / 実績値		
	最 終 目標値	36%	令和 5 年度と令和 6 年度比較では戸当たり単価が約1.4倍上昇し、令和 6 年度実施戸数を減らしたため。これは追炊き機能無タイプ給湯器の廃番に伴い追炊き機能有の給湯器設置、材料費等の高騰による戸当たり単価の増加によるもの。
	最 終 実績値	34%	